

地下水調査の結果について (平成30年11月)

平成30年11月に行った地下水調査の結果、観測井戸No. 1において、地下水の水質汚濁に係る環境基準値を超える総水銀が検出されました。その他の項目及びその他の観測井戸については、すべて環境基準値を満足していました。生活環境への影響については、周辺下流域は上水道が完備されており、地下水の飲用は確認されていないことから、生活環境への影響はないと考えています。

供用開始後の地下水調査の結果

単位：mg/l

試料 (採水日) 項目	ホーリング No. 1	ホーリング No. 2	ホーリング No. 3	定量下限値	基準値
	11/12	11/12	11/12		
pH	6.2	6.9	5.5	—	—
電気伝導率	56.2	34.5	21.0	0.1	—
浮遊物質	不検出 (<1)	不検出 (<1)	不検出 (<1)	1	—
総水銀	0.0011	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	検出されないこと。
カルシウムイオン	69	37	7.8	0.1	—
ナトリウムイオン	26	20	27	0.1	—
カリウムイオン	0.6	0.6	1.3	0.1	—
マグネシウムイオン	12	8.0	1.7	0.1	—
硫酸イオン	24	28	1.0	0.1	—
硝酸イオン	10	10	0.5	0.1	—
炭酸水素イオン	140	100	26	0.5	—
塩化物イオン	80	35	49	0.1	—

(注) ・赤字は基準値超過を示します。

・不検出とは、定量下限を下回っていることを示します。

・分析は、「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第2版）」の「Appendix-7地下水の採水方法」に従い採水した試料を用いて分析した。